

日刊 發行編輯人 川崎文治 本社下同香地(電話六三〇番) 印刷所 常盤毎日印刷所

# 東京新聞

定部金貳錢 廣告五錢 印刷費五錢 郵税五錢 料告五錢 行一十二 休日曜大祭 福島縣石城郡平町長橋町三十五 發行所 常盤毎日新聞社 電話六三〇番


刊夕日六十月二十

## 貸切自動車の御用命は

昭和タクシーへ  
高級車で乗心地の好い  
昭和タクシー

電話は 三三四三番  
平驛前

いや……君、見違ひたよ  
いや……洋服を求めた  
いや……コレカネ……  
例の「ソレ」



正札堂  
堂 札 正

セメント  
壁用材料  
コールタール  
ペンキ塗料  
板ガラ

磐城セメント株式會社  
代理店 西村屋藥舖  
平町二丁目(電三)

淋病と御婦人の中には是非この薬が必要

殊に、慢性の淋病せうかち、で此薬に心付かぬ一生生涯悩まなければなりません。とに角一週間服用せば眞價が判ります  
注意 薬は三週迄ありますが意外に早く治る方がある故、最初は先づ一週分で結果を見る事が必要です  
峰岸淋丹は一般賣薬と異り家傳の秘法を嚴守して調製する當家の専賣薬 ならば、希望者は本家へ來訪あれ、遠方の方は前金なり代金引換なり御都合のよい便で申込めば何品か判らぬ様密封小包で送ります

(價例) 一週分二圓七十錢、二週分五圓、三週分七圓 前金は送料十二錢代金引換は三十錢

東京 峰岸淋丹  
縣下一手頒布所  
平南町火之見下

### 公債政策に就て

代議士 山下谷次

(五)

三、公債發行の目的と一人當り

第三、公債の種類を示さず發行の目的を言はず、唯六十億圓近くの總高を捕へて日本國民は生れたまゝで一人當り九十圓の借金を持つて居るのだといふが如き宣傳は無知なる國民を誤らしむるものである、借金の方からのみ言へばさうも言はれるが前にも述べた通り此

の借金は皆止むを得ず發行したもので、軍事公債の如きは十六億圓を使つた爲めに唯物質方面のみを見ても國家の財産はどれ程増加したかも知れない。勿論日露戦争がなかつたならば此公債は發行せず済んだのである、従つて朝鮮も滿洲も樺太も將た露領沿海の利權も得られなかつたのであるが若しさうであつたならば我國の經濟力や國富は今日如何なる程度のものに止まつて居たかを考へて見るがよい。又鐵道の公債は十五億圓であるが、今日國有鐵道が評價すれば如何に安く見ても四十億圓以上の財産

になつて居るではないか故に公債六十億圓近くを以て日本國民は生れたまゝで各九十圓の借金を負つて居るといふならば同じ理由を以て日本國民は生れたまゝで各何千圓の財産を持つて居ると言はねばならぬ。然るに唯一方の借金のみを捕へて之を鼓吹するのは徒らに國民を欺くものである更に又約六十億圓の公債の内、外國債は僅に十四億圓で大部分は内國債であるから外國からの借金は一人當り廿圓に過ぎない

吉町目 和久井屋 雷〇五番

十二月十七日ヨリ 三十一日マデ

御屠蘇道具  
正月用品賣出し  
景品呈上

季節向  
毛糸の大廉賣

糸類 玩具 學用品卸小賣

森下商店  
平町一丁目

### 御得意様各位

常盤屋時計店主

拜啓時下歲末の折柄各位益々御清榮段奉慶賀候  
陳者弊店儀今年を以て開業五十五週年を迎ふる事と相成候此一重に皆々様の御厚情なる御引立に依るものと只々感謝致し居り候就ては此の永年の御愛顧に酬ゆる一端として一昨日本紙上にて廣告致し置き候間既に御承知の御事と存じ候も今回大犠牲を拂ひたる奉仕的大景品福引付時計大廉賣を開始致し候本賣出しは全々利益を度外視したるものなる事店頭陳列の特價品及景品等に依り篤に御諒解願上候

此機會を逸されず倍舊の御引立を蒙り度一重に御願申上候  
尙商品は眞の品質本位、價格低廉をモツトと致す可く候先は謝恩廉賣に際し一言申上候 敬白

内臟外科 骨關節外科 整形外科 専門 藤本 順  
産婦人科 院長 木村寅次郎  
平町新川町 木村病院  
電話一六四番

母ス、儀 病氣の處養生  
相不叶十三日午後一時永眠  
仕候に付御通知に換へ此段  
謹告仕候

追而來る十二月十八日午後一時自宅出棺儀式を以て松堂院に埋葬可仕候  
昭和四年十二月十四日

男 親戚 總代  
堀加森 江藤本 正丈盛 茂夫一

### 昨日福島公會堂に 政友支部總會開く

支部長幹事長は共に再選  
本部派遣代議士氣を吐き  
満堂に野黨の氣勢溢る

政友會縣支部總會は十五日午後二時から福島市公會堂に於て本部特派員東、山崎、赤尾、西形四代議士の臨席を得て

#### 開會し た佐藤支部

幹事長開會を述べ次いで萬場の拍手裡に八田支部長座席につき挨拶の後宣言決議の審議を満場一致可決し更に四年の黨勢報告を行へ

### 明年度平町の 壯丁者數

百五十七人で  
十一人の増加  
平町に於ける明年度の壯丁人員は百五十七人で昨年度の百四十六人に比し十一名の増加である

### 金解禁講演

廿二日藤田校で  
平商工會では来る廿二日午後一時より平町藤田女學校講堂に於て朝日新聞社經濟部長法學士前田繁一氏を招き金解禁に關する講演會を開催し午後三時より座談會を催すと

### 植田品評會

本日褒賞授與  
十四日植田町小學校に於て開催された植田町農會主催農産物品評會に石城郡農會より大山技手出張審査の結果授賞者左記の如く決定し本日同小學校に於て褒賞授與を催すと



人參の初霜漬

材料(五人前) 西洋人參、食鹽、生酢、砂糖、白髪昆布  
拵へ方 西洋人參三本を皮をむき長さ一寸位にきりそ

與式が舉行された  
▲(一等)鈴木雄、八代康明、鈴木末吉、内藤金壽、鈴木平治、古川權左衛門  
▲(二等)鈴木平治、水野寅吉  
▲(三等)柳葉藤八、鈴木安久  
▲(四等)赤津機平

### また起つた 診察料藥料値下

平地方の萬象は  
悉く値下げへ!!

平町において家賃値下げに一段の氣勢をあげた社民黨警城支部では石城郡における醫師協會なるものが診察料或は各藥價を諸物價が下落してゐるに拘らず依然値下げをせざるに置くことは醫

### 自動車轢く

湯本町街路で  
被害者重傷  
平署で取調

既報の如く十四日同村小學校に於て開催された郡農會より柴田技手出張審査の結果一等六人二等十人三等十人八人と決定十六日褒賞授與式を舉行した

### 平町人事

▲出生  
△北目町九 和田久治氏二男次男  
△北目町十一 佐藤ナツ子氏長女チエ  
▲婚姻  
△五丁目六 野田勝之氏(三三)千葉縣香取郡豊里村前後(三三)

### 映畫大會

白銀青年主催  
十九日有聲座

平町白銀青年團では基金募集の爲め来る十九日晝夜有聲座に於て映畫會を開催するが映畫の中には女子スポーツ界の花形人見絹枝嬢の各種運動狀態を撮影したのもある

### 植田消防組 聯合檢閲

昨日壯烈に

植田、錦、山田三ヶ町村聯合消防檢閲は十五日午前九時より植田小學校に於て舉行した

### 地區改良の 南町裏新道

補償金支拂完了

平町南町裏新道新設事業は着々進捗し平町南裏道路設定實行委員會では十三日第三回補償金支拂を完了したが新設道路總坪數は六百三十三坪でこの地主は館林喜助氏外四十七名である

### 藥業組合 共同設置計劃

平町を中心とする警城藥業組合及植田を中心の菊多藥業組合ではお互の意志疏通を圓滑ならしめ同業者の繁榮向上のため兩者を合併し

### 警炭消防 十五日檢閲

石城郡内郷村字綴警城炭礦私設消防組秋季檢閲は十五日午前十時同炭礦グラウン

### 平出納檢査 今日終了

平町の出納檢査は本日午前十時より平町役場に於て萩原義雄、青沼録太郎、兩町議外二名の檢査員によつて行はれた

### 自動車事故 通行人類死の 重傷を負ふ

石城郡平窪村大字中平窪字柱進松崎新藏(四)は十四日午前九時頃同村字細田地内縣道を歩行中小川方面より

### 植田放火犯 懲役言渡

一二年半に決定

去る九月植田町植田敬一(三)が先妻の家に放火した事件は其後引續き審理中の處本日午前十時平區裁判所千葉裁判長より懲役二年六ヶ月の判決言渡があつた

### 名刺交換會 申込廿五日迄

平町は來一月元旦聚樂館

明日の天気  
北寄の風  
曇りの見込み

看護婦派出の求めに應ず  
平町看護婦會  
電話三〇七番